

アクアクリン ホワイトティ《歯磨きジェル》

【成分】

水、乳酸桿菌／ダイコン根発酵液(抗菌剤)、PEG-60水添ヒマシ油(可溶化剤)、キサンタンガム(増粘剤)、ヒドロキシエチルセルロース(増粘剤)、エタノール(溶剤)、キシリトール(保湿剤)、香料(着香剤)、フェノキシエタノール(保存剤)、ハッカ油(矯味剤)、メントール(清涼剤)、BG(溶剤)、グリチルリチン酸2K(矯味剤)、ナタマメ種子エキス(清掃剤)、チャ葉エキス(清掃剤)、スイカズラ花エキス(保湿剤)、クマザサ葉エキス(保湿剤)

	表示名称	種類	配合目的
1	水	マイナスイオン水	天然の水を特殊還元性電解イオン水に精製した対イオンのない電解イオン水。完全無添加の浸透力の高いイオン水。イオンフレッシュシリーズの基剤に配合しています。
2	乳酸桿菌／ダイコン根発酵液	抗菌剤	ダイコンの根を基質として、乳酸菌で発酵したものを濾過し手得られる液。不純物やニオイ等を除去、単離精製する事で、防腐性の高さに期待が持てる成分。
3	PEG-60 水添ヒマシ油	可溶化剤	PEG-60を水素添加したヒマシ油を重合して得られ、皮膚刺激がなく、安全性の高い可溶化剤です。
4	キサンタンガム	増粘剤	キャベツやトウモロコシなどのでんぷんの糖類を発酵させて得られる水溶性の天然多糖類で水に溶かすことによって粘性(粘り気)を生じる物質です。
5	ヒドロキシエチルセルロース	増粘剤	セルロースのヒドロキシエチルエーテルであり、水溶性の安定性、保護コロイド性、皮膜形成能が優れているため、増粘剤、分散剤、結合剤などとして多くの化粧品に用いられています。
6	エタノール	溶剤	精製水を加えて必要な濃度に調整し、清涼感、収れん作用および防腐作用目的で化粧水を中心とした幅広い製品に使用されています。
7	キシリトール	保湿剤	糖アルコールの一種で天然の甘味料として用いられており、虫歯の抑制効果も期待できます。
8	香料	着香 (ペパーミントの香り)	化粧品に使われる香料は安全性を確認したものに限定されています。
9	フェノキシエタノール	防腐剤	安全性は高く、防腐剤としても、優秀です。
10	ハッカ油	矯味剤	ミント特有のスーとした清涼感が楽しめるだけでなく、消臭、除菌、リラックスなど、さまざまな効果があります。
11	メントール	清涼剤	ハッカに含まれる成分のことをさし、主に清涼感を出す成分です。
12	BG	溶剤	制菌作用もある、多価アルコールの一種で「1,3-ブチレングリコール」の略であり、水となじみもよく、潤いを保ちみずみずしい肌にする目的で化粧品に広く用いられています。
13	グリチルリチン酸2K	抗炎症作用	肌荒れを防ぐ作用があり、皮膚コンディショニング剤。
14	ナタマメ種子エキス	浄化剤	昔から「膿取り豆」と言い伝えられ、歯槽膿漏やなどの民間療法に用いられてきた
15	チャ葉エキス	消臭剤	チャの木の葉から抽出して得られたエキスです。カフェインやキサンチン、タンニン、ビタミンC、アミノ酸などを含みます。保湿剤、酸化防止剤として使用します。
16	スイカズラ花エキス	保湿剤	フラボノイドのルテオリン、イノシトール、タンニン、サポニン、などの成分を含んでいます、引き締め作用、保湿作用などがあり、乾燥による肌荒れを防ぎます。
17	クマザサ葉エキス	抗炎消剤	クマザサの葉から抽出されて作られたエキスで、ビタミン類、フラボノイド、有機酸、多糖類、ミネラル、β-アミリンなどの成分を含んでいます。抗菌効果、消臭効果などがあり、口臭、体臭の除去。